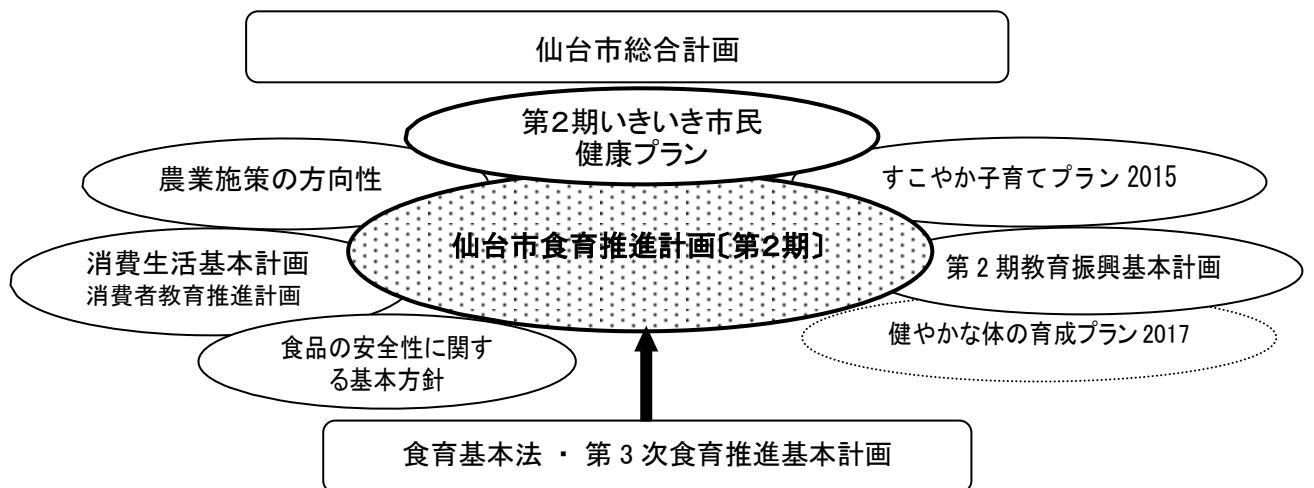


仙台市食育推進計画〔第 2 期〕後期計画の策定について

1. 後期計画策定の趣旨と位置づけ

本市では、地域特性を活かした食育の取り組みを総合的かつ計画的に推進するため、平成 19 年 3 月に「仙台市食育推進計画」を策定し、さらにその間、把握した課題、社会情勢や環境の変化を踏まえて、平成 23 年 3 月に、仙台市食育推進計画〔第 2 期〕を策定した。第 2 期計画では、「食べる力をみんなでアップ！～みんなでおいしく楽しく食べよう～」を基本目標に、市民と様々な関係機関、行政が、それぞれの特徴を活かした取組を推進してきた。平成 29 年度は第 2 期計画の中間評価年であり、これまでの取り組みの評価を行い、後期計画を策定する予定となっている。

後期計画も引き続き、「仙台市総合計画」を上位計画とした、食育を市民運動として推進するための行動計画として、「いきいき市民健康プラン」をはじめとする本市の各種個別計画との連携を図りながら、食育の取り組みを効果的に推進する。



「仙台市食育推進計画〔第 2 期〕」は、本市の健康増進事業計画である「第 2 期いきいき市民健康プラン」との整合性を図り、平成 23 年度から平成 32 年度までの 10 年間の計画期間としていた。

「第 2 期いきいき市民健康プラン」が、平成 25 年度、国の「健康日本 21（第 2 次）」に合わせて計画期間の見直しを行い、計画期間を平成 34 年度までに延長したことから、「仙台市食育推進計画〔第 2 期〕」についても同様に、目標年を平成 34 年度までとした。

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
進捗	計画スタート		← 前期計画 →				中間評価	← 後期計画 →				目標年
						各種調査 実態把握	後期計画 策定				各種調査 実態把握	次期計画 策定

2. 後期計画の策定方針

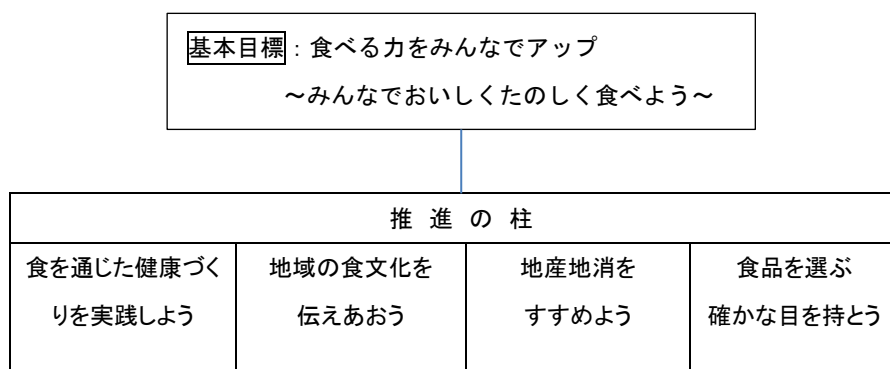
食育の推進にあたっては、市民と共に、保育・教育関係者、保健・医療関係者、農水産業の生産関係者、食品関連事業者、市民活動団体、行政など、食に関わる様々な関係機関が協働し、それぞれの特徴を活かしながら取り組んできた。後期計画は、これまでの取り組み実績と成果を評価したうえで、国の計画もふまえ、今後重点的に取り組むべき方向性を盛り込んでいく。

3. 計画の評価にあたっての基本的な考え方

中間評価にあたっては、以下の2項目を基本にこれまでの取り組みに関する評価を行うこととし、後期の取り組みに向けた今後の課題を明確にしていく。

【評価ステップ 1】 4つの推進の柱に沿った取り組みの実績

現計画では、基本目標の達成に向けて、次の4つの推進の柱に沿って様々な取り組みを行っている。この推進の柱ごとに市及び関係機関等の取り組み実績をとりまとめ、評価する。



【評価ステップ 2】 推進にあたっての指標の達成状況

現計画では、食育推進にあたっての指標を定めており、平成21年を現況値として平成34年の目標値を掲げている。中間評価にあたっては、市民意識調査等の結果や統計資料などをもとに指標の達成状況を把握し評価する。

4. 検討組織及びスケジュール

仙台市食育推進会議を検討組織として、現計画の中間評価を実施した後、後期計画の中間素案を検討し市民に公表。広く市民意見を募集し、これらを踏まえて後期計画を策定する。